

❖ James Molloy - MIRA Newsletter #23 ❖

J I Mのみしまものがたり㉓

看板建築

『人は、朝は全身で歩くが、夕方は足だけで歩く』

これは19世紀の哲学者であり、隨筆家でもあるラルフ・ワルド・エマーソンの言葉です。

若かりし頃には理解することができませんでしたが、今となってはまさにエマーソンの言う通りだと思います。



新しい小道を見つけたり小さな発見をしたりといった以外には特に目的もなく、ずっと散歩を楽しんでいます。長年にわたって散歩するうちに、周りが静かで、自分の心もすがすがしい朝早くに行動するのが一番だと確信しました。

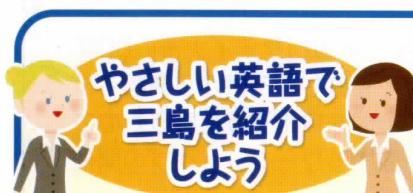
どこからともなく漂ってくるおいしそうな炭焼きうなぎの香りに邪魔されたり、多忙なスケジュールに束縛されることなく、自由な気持ちで歩き回れる朝。



少し前、早朝の散歩中に、正面はモダンでおしゃれな、少し古めかしくて昔ながらの建造物の存在に気づきました。これまでこういった建物には目を留めていませんでしたが、一旦気づくともう少し上を向いて歩くようになります。
すると、三島のまちはまた違った様相を帯びてくるのです。

この建物様式は看板建築、英語では“Billboard Architecture”として知られています。時を遡ること1930年代初め。1930年に発生した北伊豆地震の後、街に建てられたものです。

オフィスに座って執筆していると、窓のすぐ向こう、自分の肩ごしにお気に入りの看板建築が見えます。一瞬振り返って細部を見ていると、周りの建物よりひと際目立っていたであろう時代にタイムトリップしてしまうかのようです。そして、このまちにまだ見たことのない看板建築がどれくらいあるのか、さらに昭和初期にはどれほど並んでいたのか、想像を巡らせるのです。



NO.
4

湧水の町 Town of Clear Water

1万年前に富士山の噴火で流れ出た溶岩は、三島をはじめ、伊豆半島北部地域の大体を作り出しました。三島市は富士山から約40キロ離れています。富士山に降った雨や雪解け水は地下に染み込み、溶岩流の隙間を10数年かけて流れ、この地に湧き出ています。あちらこちらから湧き出る水は濾過されて清らかで、三島にはきれいな水の川が多いことが特徴となっています。

10,000 years ago, an eruption on Mt. Fuji created lava flow which formed the land of the northern part of Izu Peninsula, including Mishima. Rain and melted snow flow underground and over a period of 10 years or more, travel slowly through the lava 40 km to Mishima. Purified by a filtering process through the rocks, it gushes out here and there around Mishima and produces the many clear rivers the city is famous for.